

骨検診におけるマニュアル（栄養、食事指導部分）の作成

研究分担者 上西一弘 女子栄養大学栄養生理学研究室 教授

研究要旨 昨年度は骨検診受診者のための栄養・食事指導パンフレットの作成を試みた  
が、今年度は研究班の最終目標である、骨検診マニュアル改訂版作成のための草案とし  
て、過去の検診マニュアル（骨粗鬆症検診・保健指導マニュアル第2版）の改定案を作成  
した。

作成にあたっては基本的には前回のものを踏襲したが、新しくカルシウム必要量の項目  
を加えた。さらに骨代謝に影響を及ぼす他の因子等の項目をより詳しく記載した。

また、検診でのFRAXの使用を考慮して、FRAXで取り上げられている栄養、食事関係の関連

#### A. 研究目的

骨検診のマニュアル（骨粗鬆症検診・保健指導マニュアル第2版）は、2009年に発行された「骨粗鬆症検診・保健指導マニュアル」を改訂する形で2014年に発行されたもので、発行から8年が経過している。本研究班で、新しい骨検診を検討するにあたり、新しいマニュアルを作ることが目標の1つとなっている。昨年度は骨検診受診者のための栄養・食事指導パンフレットの作成を試みたが、今年度は研究班の最終目標である、骨検診マニュアル改訂版作成のための草案として、過去の検診マニュアル（骨粗鬆症検診・保健指導マニュアル第2版）の改定案を作成した。

#### B. 研究方法

作成にあたっては、「骨粗鬆症検診・保健指導マニュアル第2版」を基本に、新しい知見を加えるとともに、前回記載されていなかった項目を追加した。さらに本研究班で検討されているFRAXの導入を考慮して、関連項目を加筆した。

#### C. 結果

作成したマニュアル原稿（案）を添付した。

#### D. 考察

今回のマニュアル作成にあたっては基本的には前回のものを踏襲したが、新しくカルシウム必要量の項目を加えた。さらに骨代謝に影響を及ぼす他の因子等の項目を改訂した。

また、検診でのFRAXの使用を考慮して、FRAXで取り上げられている栄養、食事関係の関連項目である体格とアルコール摂取について記載を充実させた。

骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインも改訂が進んでおり、将来的にはそちらとの整合性も検討する予定である。

#### E. 結論

骨検診マニュアルの食事・栄養指導の部分の草案を作成した。作成にあたっては基本的には前回のものを踏襲したが、新しくカルシウム必要量の項目を加えた。さらに骨代謝に影響を及ぼす他の因子等の項目を改訂した。

また、検診でのFRAXの使用を考慮して、FRAXで取り上げられている栄養、食事関係の関連項目、体格とアルコール摂取について記載をより詳しく記載した。

今後、さらに検討を加え、骨粗鬆症の予防と治療ガイドラインの改訂版とも整合性を取りなが

ら、最終版のマニュアル作成につなげていく予定である。

#### **F. 健康危険情報**

なし

#### **G. 研究発表**

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

第23回骨粗鬆症学会（2021年10月）

シンポジウム 骨粗鬆症検診のあり方

「骨粗鬆症検診後の保健指導：栄養指導のあり方」

#### **H. 知的財産権の出願，登録状況**

なし